

PRI 報告フレームワーク

債券

2023

最終改訂日：2023 年 4 月 14 日

本資料は日本語参考訳です。英語の PRI REPORTING FRAMEWORK も併せてご確認ください。

日本語版と英語版で相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。

目次

全体的なアプローチ	4
重要課題(マテリアリティ)分析[FI 1]	4
FI 1	4
ESGトレンドのモニタリング[FI 2]	7
FI 2	7
投資前	10
調査への ESG の組み入れ[FI 3、FI 4、FI 5、FI 6、FI 7]	10
FI 3	10
FI 4	12
FI 5	14
FI 6	17
FI 7	19
ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ[FI 8]	21
FI 8	21
パッシブ運用投資[FI 9、FI 10]	24
FI 9	24
FI 10	26
投資後	28
ESG リスクの管理[FI 11、FI 12]	28

FI 11	28
FI 12	31
パフォーマンスのモニタリング [FI 13、FI 14]	33
FI 13	33
FI 14	35
テーマ型債券 [FI 15、FI 16、FI 17]	36
FI 15	36
FI 16	38
FI 17	40
ESG スクリーニングの開示 [FI 18]	42
FI 18	42

全体的なアプローチ

重要課題(マテリアリティ)分析[FI 1]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 1	ゲートウェイ	該当なし	重要課題(マテリアリティ)分析	1	コア
貴組織は債券資産全体について、重要な ESG 要因を特定して組み入れについて正式な投資プロセスを定めていますか。					
	組織内運用債券資産の種類				
	すべての資産の種類	(1)SSA	(2)社債	(3)証券化商品	(4)プライベート・デット
(A)はい、投資プロセスに重要なガバナンス要因を組み入れている	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象
(B)はい、投資プロセスに重要な環境および社会要因を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(C)はい、さまざまな投資タイム・ホライズンに応じて投資プロセスに重要な ESG 要因を組み入れている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D)いいえ、正式なプロセスを定めておらず、運用担当者が自己の裁量で重要な ESG 要因を特定している	O	O	O	O	O
(E)いいえ、重要な ESG 要因を特定して組み入れる正式または非公式なプロセスを定めていない	O	O	O	O	O

説明	
指標の目的	本指標の目的は、重要な ESG 要因に対する署名調査の範囲と深度を評価し、そのプロセスが投資プロセスの一部として形式化されているかどうかを評価することです。署名機関にとって、関連する ESG 要因の時間の経過に伴う変化を考慮し、債券の分析で重要なガバナンス要因以外にも広げ、組織の正式な投資プロセスまたは投資体系に組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。この取り組みにより、ESG データやトレンドの分析を行わなければ表面化しない可能性のあるダウンサイド・リスクを特定し、管理できるようになります。この分析を投資プロセスに正式に組み入れることで、組織内での首尾一貫性の確保が促進されます。
追加報告 ガイダンス	重要な ESG 要因を特定する正式なプロセスを定めるには、次に掲げる手順の一部または全部を組み入れる必要があります： (i) 投資リサーチ：ダウンサイド・リスクに影響を及ぼす可能性のある重要な ESG 要因を（発行体のレベルおよび個別証券のレベルで）特定する。 (ii) 証券評価：重要な ESG 要因を財務分析とバリュエーションに統合する（例：組織内の信用評価、予想財務データおよび比率、相対的な格付け、レラティブ・バリュースプレッド分析、感応度／シナリオ分析を行う）。 (iii) ポートフォリオ管理：セクター配分や地理的配分などを通して、リスク管理やポートフォリオ構築に関する決定に ESG 分析を組み入れる。 本指標では、「正式な」投資プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。 特定の会社またはポートフォリオ全体の構成に関する投資判断をするときに、重要な ESG 要因を従来からの財務要因と併せて特定し、評価することで、リスクの低減や投資収益の向上を図ります。投資家はさまざまな技法を用いて、特定の ESG データや広範な ESG トレンドを分析しなければ表面化しない可能性のあるリスクおよび機会を特定しています。ESG 要因の意義と重要性は企業やセクター、市場によって異なります。本指標は、意義や重要性に関する署名機関の最終判断には関係なく、署名機関の調査プロセスの範囲に関係します。
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド：債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。

ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点： A～C から 3 つすべて選択した場合は 50 ポイント。 A と C の両方、または B と C の両方の場合は 40 ポイント。 A と B の両方の場合は 30 ポイント。 A、B から 1 つ選択した場合は 20 ポイント。 C の場合は 10 ポイント。 D、E の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点： A から C の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです： すべて (1) の場合は 50/3 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/3 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/3 ポイント。	その他の詳細： 「D」または「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当する資産タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。 各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
乗数	Moderate(中)			

ESGトレンドのモニタリング[FI 2]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 2	ゲートウェイ	該当なし	ESGトレンドのモニタリング	1	コア

貴組織は債券資産全体について、変化する ESGトレンドの影響をモニタリングして検証するための正式なプロセスを定めていますか。

	組織内運用債券資産の種類			
	すべての資産の種類	(1)SSA	(2)社債	(3)証券化商品
(A)はい、シナリオ分析を含む正式なプロセスを定めている 具体的に記入: _____ [自由記述(任意):ミディアム]	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象
(B)はい、正式なプロセスを定めているが、シナリオ分析は含まれていない 具体的に記入: _____ [自由記述(任意):ミディアム]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)債券資産に関する正式なプロセスを定めていない。運用担当者が 自己の裁量で ESGトレンドが時間の経過に伴いどのように変化するかを モニタリングしている	O	O	O	O

(D)債券資産において変化する ESG トレンドの影響をモニタリングおよびレビューしていない	O	O	O	O
--	---	---	---	---

説明				
指標の目的	本指標の目的は、署名機関が、変化する ESGトレンドのレビューとモニタリングを投資プロセスの一部として形式化しているかどうかを評価することです。重要な ESG 要因が特定された後（それらが存在するか潜在的であるかの特定を含む）、あらゆる債券資産の種類にわたってすべての AUM を適用する正式なプロセスを定めることは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスにより、既存の保有資産に対するこれらのトレンドの影響を評価するためのシナリオ分析など、変化する ESGトレンドの影響をモニタリングしてレビューできます。			
追加報告ガイダンス	本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。			
	本指標においては、「変化する ESGトレンド」には規制、気候、技術、および消費者需要における変化が含まれます。 本指標においては、「シナリオ分析」は気候要因に限定されず、投資の決定に関連するその他の ESG 要因の分析も含まれます。			
他のリソース	債券投資への ESGトレンドの組み入れに関するガイダンスとケース・スタディについては、 ESG の組み入れに関するガイダンスとケース・スタディ:株式および債券 (Guidance and case studies for ESG integration: equities and fixed income) を参照してください。			
ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント)と対象範囲(50 ポイント)の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高いものの組み合わせに基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点： A の場合は 50 ポイント。 B の場合は 33 ポイント。 C、D の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点： すべて(1)の場合は 50 ポイント。 過半数(2)の場合は 25 ポイント。 一部(3)の場合は 12 ポイント。	その他の詳細： 「C」または「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。

				該当する資産タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
乗数	Moderate(中)			

投資前

調査への ESG の組み入れ[FI 3、FI 4、FI 5、FI 6、FI 7]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 3	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

貴組織は過半数の債券投資について、信用度を評価するときに、**重要な ESG 要因を組み入れて**いますか。

	組織内運用債券資産の種類				
	すべての資産の種類	(1) SSA	(2) 社債	(3) 証券化商品	(4) プライベート・デット
(A) 重要な 環境 および 社会要因 を組み入れている	☐	☐	☐	☐	☐
(B) 重要な ガバナンス関連要因 を組み入れている	☐	☐	☐	☐	☐
(C) 過半数の債券投資について、重要な ESG 要因を組み入れていない	☐	☐	☐	☐	☐

説明

指標の目的

本指標の目的は、ESG 要因が、証券リスクとそれらに内在する信用度に関する署名機関の評価基準に情報をどのように提供しているかを評価することです。投資リスクと機会を特定する際に、ガバナンスだけではなく、すべての ESG 要因を含めることは、優れた取り組みであると考えられます。債券投資家の場合、リスク分析における ESG 要因の検討が借り手の信用度の評価に反映されるべきです。これにより、リスクと機会の完全な反映および投資決定における効果的な組み入れが可能になります。

追加報告ガイダンス	本指標は現在の ESG 評価基準がどのように予想キャッシュ・フローに影響を及ぼしているかに焦点を当てています。ESG 評価の予想される変化は含まれていません。	
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: 債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	本指標全体で 100 ポイント。 A と B の両方の場合は 100 ポイント。 A の場合は 66 ポイント。 B の場合は 33 ポイント。 C の場合は 0 ポイント。	その他の詳細: 「C」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当する資産タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
乗数	Moderate(中)	

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 4	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

貴組織は発行体の国、地域、セクター別に ESG リスクを区別するフレームワークを導入していますか。

	組織内運用債券資産の種類				
	すべての資産の種類	(1)SSA	(2)社債	(3)証券化商品	(4)プライベート・デット
(A)はい、国や地域別(地域のガバナンスや労働慣行など)に ESG リスクを区別するフレームワークを導入している	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象
(B)はい、セクター別に ESG リスクを区別するフレームワークを導入している	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C)いいえ、発行体の国、地域、セクター別に ESG リスクを区別するフレームワークを導入していない	O	O	O	O	O

(D)該当しない。発行体の領域が制限されているため、発行体の国、地域、セクター別に ESG リスクを区別することができない	O	O	O	O	O
---	---	---	---	---	---

説明				
指標の目的	本指標の目的は、ESG の組み入れを十分に実現させるために、どのくらいの範囲と深度で投資プロセスが適用されているかを評価することです。ESG リスクを国、地域、セクター別にマッピングし、各発行体をピアと比較して評価すること、およびすべての債券資産に一貫してフレームワークを適用することは、優れた取り組みであると考えられます。			
追加報告ガイダンス	本指標では、国・地域別に ESG リスクを区分することは、発行体が事業を運営している地理的エリアおよび司法管轄を区分することを意味します。セクター別に ESG リスクを区分することは、発行体が事業を運営している業種（鉱業、消費財など）を区分することを意味します。			
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: 債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。			
ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高いものの組み合わせに基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点： A および／または B の場合は 50 ポイント。 C の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点： すべて (1) の場合は 50 ポイント 過半数 (2) の場合は 25 ポイント 一部 (3) の場合は 12 ポイント	その他の詳細： 「C」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 「D」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。 署名機関は、本指標のために減点されることはありません。 該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
乗数	High(高)			

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 5	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

貴組織はデュー・デリジェンスの段階でプライベート・デット投資を選択する際に、どのように重要な ESG 要因を組み入れていますか。

☐ (A) 定性的な ESG のチェック・リストを使用している	[ドロップダウン・リスト] (1) すべてのケース (2) 過半数のケース (3) 一部のケース
☐ (B) 重要な ESG 要因の定量的な情報(エネルギー消費量、カーボン・フットプリント、ジェンダー・ダイバーシティなど)を評価している	[同上]
☐ (C) ターゲット企業が独自の責任投資ポリシー、サステナビリティ・ポリシー、あるいは ESG ポリシーを持っているかどうかを確認している	[同上]
☐ (D) 内部機能を利用できない場合、サードパーティ・コンサルタントを採用し、特定の重要な ESG 要因に対するテクニカル・デュー・デリジェンスを行っている	[同上]
☐ (E) 投資委員会またはそれに相当する機能による ESG のデュー・デリジェンス・プロセスのレビューと署名を求めている	[同上]
☐ (F) 業界で認識された責任投資デュー・デリジェンス・アンケート(DDQ)テンプレートを使用している	[同上]
☐ (G) デュー・デリジェンス・プロセスの間にプライベート・デット投資を選択するときに、別の方法を使用して重要な ESG 要因を組み入れている 具体的に記入: _____ [自由記述(必須): ミディアム]	[同上]

○ (H) デュー・デリジェンスの段階でプライベート・デット投資を選択するときに、重要な ESG 要因を組み入れていない

説明				
指標の目的	本指標の目的は、ESG 要因をどのようにプライベート・デットの投資プロセスに組み入れ、投資の選択に焦点を当てているか評価することです。投資前の段階を含むすべての投資決定に対し、ESG 要因を分析し、組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、投資家がより全体的な視点でリスクを検討することで、隠された要因を特定し、借り手の信用力にどのような影響が及ぼされる可能性があるかを特定するのに役立ちます。			
	プライベート・デット市場などの流動性が低い市場では、満期まで保有するアプローチが検討され、投資前の段階では ESG 要因の検討が不可欠です。			
追加報告ガイダンス	業界で認識された責任投資デュー・デリジェンス・アンケート(DDQ)のテンプレートとして、PRI、Loan Syndications & Trading Association (LSTA)、Alternative Credit Council (ACC)などが提供するものを使用できます。			
他のリソース	プライベート・デット投資への ESG の統合に関するガイダンスについては、プライベート・デットにおける責任投資に関するスポットライト(Spotlight on responsible investment in private debt) および PRI のプライベート・デットに関するウェブページを参照してください。 債券運用への ESG の統合(インテグレーション)に関するその他の知見については、責任投資の入門ガイド: 債券(An introduction to responsible investment: fixed income)を参照してください。			
ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目(50 ポイント)と対象範囲(50 ポイント)の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 5 つの組み合わせに基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点： A～F から 5 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A～F から 4 つ選択した場合は 40 ポイント。 A～F から 3 つ選択した場合は 30 ポイント。 A～F から 2 つ選択した場合は 20 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点： A から F の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです： すべて(1)の場合は 50/5 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/5 ポイント。	その他の詳細： 「H」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。

	A～Fから1つ選択した場合は10ポイント。 G、Hの場合は0ポイント。		一部(3)の場合は12/5ポイント。	
「その他」の採点	「その他(G)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	Moderate(中)			

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 6	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

時間の経過に伴って変化する重要な ESG 要因の大きな変化を、債券資産評価プロセスにどのように組み入れていますか。

	組織内運用債券資産の種類			
	すべての資産の種類	(1) SSA	(2) 社債	(3) プライベート・デット
(A) 財務メトリックスの予測またはその他の定量的評価基準に組み入れている	[ドロップダウン・リスト] (1) すべての AUM が対象 (2) 過半数の AUM が対象 (3) 一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1) すべての AUM が対象 (2) 過半数の AUM が対象 (3) 一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1) すべての AUM が対象 (2) 過半数の AUM が対象 (3) 一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1) すべての AUM が対象 (2) 過半数の AUM が対象 (3) 一部の AUM が対象
(B) 重要な ESG 要因の変化を定性的に評価している	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C) 重要な ESG 要因に大きな変化を組み入れていない	○	○	○	○

説明

指標の目的	本指標の目的は、債券資産のバリュエーションを調整するために、時間の経過に伴う重要な ESG 要因の変化が組み入れているかどうか確認することです。現在の重要な ESG 要因を評価するだけでなく、それらがどのように変化する可能性があるかを評価し、可能性のある変化を特定して、署名機関のすべての AUM にわたってそれらを評価することは、優れた取り組みであると考えられます。			
追加報告ガイダンス	本指標では、「財務メトリックス」は、(i) 企業またはプライベート・デットの場合はキャッシュ・フロー、収益、収益性、(ii) SSA の場合は税収、経常支出、資本支出などを指します。			
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合（インテグレーション）に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド：債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。			
ロジック				
依存関係	[OO 21]			
ゲートウェイ	該当なし			
評価				
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 2 つの組み合わせに基づいて決定されます。			
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点： A と B の両方の場合は 50 ポイント。 A または B の場合は 33 ポイント。 C の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点： A から B の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです： すべて (1) の場合は 50/2 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/2 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/2 ポイント。	その他の詳細： 「C」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当する資産タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
乗数	High(高)			

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 7	ゲートウェイ	該当なし	調査への ESG の組み入れ	1	コア

証券化商品のリスクや収益にどの程度重要な ESG 要因を組み入れていますか。

☐ (A) 主要なカウンターパーティーと裏付けとなる資産プールの両方のレベル
説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

☐ (B) 主要なカウンターパーティーのレベルのみ
説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

☐ (C) 裏付けとなる資産プールのレベルのみ
説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

説明	
指標の目的	本指標の目的は、財務分析に焦点を当て、証券化商品の投資プロセスに仕組債の重要な ESG 要因がどのレベルで組み入れているかを評価することです。主要な取引相手先と裏付けとなる資産プール両方について重要な ESG 要因がリスクと収益にどのような影響を及ぼすかを分析することは、優れた取り組みであると考えられます。これは、投資家がリスクを全体的に評価し、あらゆる製品レベルで隠れた要因を特定するのに役立ちます。
追加報告ガイダンス	本指標においては、「裏付けとなる資産プール」は証券化された商品を裏付ける資産グループを指します。 本指標では、「主要なカウンターパーティー」は原債権者、スポンサー、サービス、CLO マネージャーなどを指します(ただし、これらに限定されるわけではありません)。
他のリソース	証券化商品における ESG 要因の分析と統合に関するケース・スタディについては、 ESG の組み入れに関するガイダンスとケース・スタディ: 株式および債券 (Guidance and case studies for ESG integration: Equities and fixed income) を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]

ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	本指標全体で 100 ポイント。 A の場合は 100 ポイント。 B または C の場合は 66 ポイント。
乗数	Moderate(中)

ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ[FI 8]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 8	ゲートウェイ	該当なし	ポートフォリオ構築への ESG の組み入れ	1	コア

重要な ESG 要因は、証券選定、ポートフォリオ構築、ベンチマーク選定のプロセスにどのように影響しますか。

	組織内運用債券資産の種類			
	すべての資産の種類	(1)SSA	(2)社債	(3)証券化商品
(A) 重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産やセクター加重の選定に影響する	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象
(B) 重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産の保有期間の決定に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(C) 重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で個々の資産のポートフォリオ加重に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D) 重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築やベンチマーク選定のプロセス内で資産の国または地域の加重に影響する	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(E)重要な ESG 要因は、ポートフォリオ構築、ベンチマーク選定プロセスに他の形で影響する 具体的に記入: ____ [自由記述(必須):ミディアム]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(F)証券選定、ポートフォリオ構築、またはベンチマーク選定のプロセスには、重要な ESG 要因の組み入れは含まれていない	O	O	O	O

説明	
指標の目的	本指標により、署名機関は、証券の評価プロセスや選定基準だけではなく、ポートフォリオの構築プロセスに重要な ESG 要因がどの程度組み入れているかを明らかにすることができます。特定のポートフォリオまたはファンドのグループではなく、さまざまな投資戦略とすべての AUM にわたり、ポートフォリオ構築と資産選定のすべての側面に重要な ESG 要因を組み入れることは、優れた取り組みであると考えられます。回答オプションはポートフォリオ構築のさまざまな側面を示しており、署名機関はそこから ESG の検討事項の結果として自己の方針およびリスク選好度を導き出します。
追加報告ガイダンス	統合、スクリーニング、テーマ性という 3 つのアプローチを用いて、ESG 要因を債券ポートフォリオの構築に組み入れることができます。投資家は目指す運用成果に基づいて、これらのアプローチを選択または組み合わせをします。例えば、ポートフォリオ・リスク・リターン特性の強化、投資ユニバースの決定、特定の環境や社会的な目標への資金配分の拡大が考えられます。 本指標においては、「保有期間」は証券の購入と売却の間の期間です。
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合（インテグレーション）に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド：債券（An introduction to responsible investment: fixed income） を参照してください。
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント)と対象範囲 (50 ポイント)の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。

	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A~D から 3 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A~D から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A~D から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から D の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて(1)の場合は 50/3 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/3 ポイント。 一部(3)の場合は 12/3 ポイント。	その他の詳細: 「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当する資産タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
「その他」の採点	「その他(E)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	Moderate(中)			

パッシブ運用投資[FI 9、FI 10]

指標 ID FI 9	依存関係	OO 5.3 FI、OO 21	サブセクション パッシブ運用投資	PRI 原則 1	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし			
パッシブな運用ファンドの設計において、重要な ESG 要因が加重およびティルトにどのように影響しているかを示す例を挙げてください。					
例としては、ポートフォリオ構築プロセスの側面や具体的な適用事例などがあります。					
[自由記述: ラージ]					

説明	
指標の目的	本指標は、署名機関に対して、署名機関がパッシブ債券ポートフォリオにおいて加重およびティルトに ESG 要因を組み入れる際に、興味深い、画期的、または先進的だと考える事例を詳しく説明する機会を提供します。そのため、署名機関は、さまざまな取り組みや経験を共有することができます。
追加報告ガイダンス	統合、スクリーニング、テーマ性という3つのアプローチを用いて、ESG 要因を債券ポートフォリオの構築に組み入れることができます。投資家は目指す運用成果に基づいて、これらのアプローチを選択または組み合わせをします。例えば、ポートフォリオ・リスク・リターン特性の強化、投資ユニバースの決定、特定の環境や社会的な目標への資金配分の拡大が考えられます。 「加重」とは、特定の保有資産または特定の保有資産の種類が投資ポートフォリオに占める比率をいいます。これは絶対値でも相対値でも示すことができます。 ポートフォリオの「ティルト」とは、代表的なベンチマークと比較したポートフォリオの加重を指します。ティルトは基本的に、指定するベンチマークに対する差異に当たります。 本指標はプライベート・デットおよび証券化デットに適用されません。
他のリソース	パッシブ投資家の ESG の組み入れに関するその他のガイダンスについては、 パッシブ投資家はいかにして責任ある投資家になれるのか？ (How can a passive investor be a responsible investor?) を参照してください。

ロジック	
依存関係	[OO 5.3 FI]、[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 19、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 10	ゲートウェイ	該当なし	パッシブ運用投資	1	プラス

貴組織はパッシブ債券資産の ESG インデックスまたはベンチマークをどのように選択していますか。

☐ (A) カスタマイズされたインデックスを委託している

説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

☐ (B) 利用可能なインデックス・プロバイダー間で手法を比較している

説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

☐ (C) 市場で利用可能なさまざまなオプションのコストを比較している

説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

☐ (D) その他

具体的に記入および説明: _____ [自由記述(任意):ミディアム]

説明

指標の目的

本指標は、署名機関に対して、署名機関が債券投資のパッシブ戦略を使用するときに、ESG インデックスまたはベンチマークをどのように選択または設計するかを説明する機会を提供します。

追加報告ガイダンス

パッシブ運用投資を追跡するために使用される ESG インデックスまたはベンチマークは、外部のものであることや、ESG フィルターを適用している署名機関によって内部で作成されたものである場合があります。

本指標はプライベート・デットおよび証券化デットに適用されません。

他のリソース

パッシブ投資家の ESG の組み入れに関するその他のガイダンスについては、[パッシブ投資家はいかにして責任ある投資家になれるのか？ \(How can a passive investor be a responsible investor?\)](#)を参照してください。

ロジック	
依存関係	[OO 19]、[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外。	

投資後

ESG リスクの管理[FI 11、FI 12]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション			PRI 原則	指標種別
FI 11	ゲートウェイ	該当なし	ESG リスクの管理			1	コア
重要な ESG 要因はポートフォリオのリスク管理プロセスにどのように組み入れていますか。							
			組織内運用債券資産の種類				
			すべての資産の種類	(1)SSA	(2)社債	(3)証券化商品	(4)プライベート・デット
(A) 投資委員会メンバーまたはそれに相当する機能・グループが ESG の検討に基づいて投資決定を拒否できる			[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象	[ドロップダウン・リスト] (1)すべての AUM が対象 (2)過半数の AUM が対象 (3)一部の AUM が対象
(B) 企業、セクター、国、通貨が、重要な ESG 要因に対するエクスポージャーの変化とリスク制限の違反に対してモニタリングされている			[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]

(C)特定の重要な ESG 要因に対する全体的なエクスポージャーが、ポートフォリオの構築に関して測定され、各発行人、またはこれらの要因に対する問題の感応度に応じて規模またはヘッジの調整が行われている	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(D)別の方法を使用して、重要な ESG 要因をポートフォリオのリスク管理プロセスに組み入れている 具体的に記入: ____ [自由記述(必須):ミディアム]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]	[同上]
(E)重要な ESG 要因をポートフォリオのリスク管理プロセスに組み入れるプロセスを定めていない	○	○	○	○	○

説明	
指標の目的	本指標の目的は、債券資産の種類ごとに署名機関のリスク管理プロセスへの ESG の組み入れの徹底度合いを把握することです。すべての AUM において、重要な ESG 要因を組織のリスク管理プロセスに組み入れていることは、優れた取り組みであると考えられます。これにより、組織は、分析しなければ表面化しない可能性のあるリスクを特定し、管理することができます。重要な ESG 要因のリスク管理プロセスへの統合がポートフォリオの構築と調整に反映されるのが理想的です。
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド:債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。 https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article
ロジック	
依存関係	[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント)と対象範囲 (50 ポイント)の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。

	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点： A～C から 3 つ選択した場合は 50 ポイント。 A～C から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A～C から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 D、E の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点： A から C の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです： すべて(1)の場合は 50/3 ポイント。 過半数(2)の場合は 25/3 ポイント。 一部(3)の場合は 12/3 ポイント。	その他の詳細： 「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当する資産タイプの数、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
「その他」の採点	「その他(D)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。			
乗数	High(高)			

指標 ID FI 12	依存関係 ゲートウェイ	OO 21 該当なし	サブセクション ESG リスクの管理	PRI 原則 1	指標種別 コア
----------------	----------------	---------------	-----------------------	-------------	------------

過半数の債券資産について、重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスクの管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスを定めていますか。

	組織内運用債券資産の種類				
	すべての 資産の種類	(1) SSA	(2) 社債	(3) 証券化商品	(4) プライベート・ デット
(A) はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、および個々の債券保有に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	☐	☐	☐	☐	☐
(B) はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、および類似するリスクやインシデントの影響を受けるその他の債券保有に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	☐	☐	☐	☐	☐
(C) はい、重要な ESG リスクと ESG インシデント、およびスチュワードシップ活動に対するそれらの影響に関する定量的／定性的情報のレビューが正式なプロセスに含まれている	☐	☐	☐	☐	☐
(D) はい、重大な ESG インシデントに関する定量的／定性的情報の臨時的なレビューが正式なプロセスに含まれている	☐	☐	☐	☐	☐
(E) ESG リスクと ESG インシデントを特定し、組み入れるための正式なプロセスを定めておらず、運用担当者が自己の裁量で重要な ESG リスクと ESG インシデントを特定し、組み入れている	☐	☐	☐	☐	☐

(F)ESG リスクと ESG インシデントを特定し、リスク管理プロセスに組み入れるための正式なプロセスを定めていない	O	O	O	O	O
---	---	---	---	---	---

説明		
指標の目的	本指標の目的は、署名機関のリスク管理プロセスが、重要な ESG リスクと ESG インシデントを投資判断および投資調査に正式に組み入れているかを評価することです。理想的には個々の資産レベルで ESG リスクと ESG インシデントを定期的に特定して組み入れるための正式なプロセスを定めて、投資に関する決定を的確に伝えるための監督および精査の適切なレベルを確立することは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、バリュエーションまたは事業モデルにとって重要な影響を持つリスクとインシデントを特定できる必要があります。また、レピュテーション・リスクの点で投資マネージャーにとっても重要な影響があります。	
追加報告ガイダンス	本指標では、「正式な」プロセスとは、所定のプロセスを実行するための監督と責任を含む、同意済みの体系およびプロセスのことを指します。	
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド：債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。 https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article	
ロジック		
依存関係	[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	本指標全体で 100 ポイント。 A～D から 4 つ選択した場合は 100 ポイント。 A～D から 3 つ選択した場合は 75 ポイント。 A～D から 2 つ選択した場合は 50 ポイント。 A～D から 1 つ選択した場合は 25 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	その他の詳細： 「E」または「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 該当する資産タイプの数は、本指標に割り当てられるポイントに影響しません。各資産タイプは別個のスコアを受け取ります。
乗数	Moderate(中)	

パフォーマンスのモニタリング[FI 13、FI 14]

指標 ID	依存関係	OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 13	ゲートウェイ	該当なし	パフォーマンスの モニタリング	1	コア

報告年度中に、貴組織は**プライベート・デット**投資をモニタリングする際に、**重要な ESG 要因**をどのように組み入れましたか。

☐ (A) 定性的な ESG のチェックリストを使用した	[ドロップダウン・リスト] (1) すべてのケース (2) 過半数のケース (3) 一部のケース
☐ (B) 重要な ESG 要因の定量的な情報(エネルギー消費量、 カーボン・フットプリント 、ジェンダー・ダイバーシティなど)を評価した	[同上]
☐ (C) 内部機能を利用できない場合、サードパーティ・コンサルタントを採用し、特定の重要な ESG 要因に対するテクニカル評価を行った	[同上]
☐ (D) 業界の主要ガイドラインを使用した	[同上]
☐ (E) 別の方法を使用して、プライベート・デット投資のモニタリングに重要な ESG 要因を組み入れた 具体的に記入: _____ [自由記述(必須):ミディアム]	[同上]
☐ (F) プライベート・デット投資をモニタリングするときに、重要な ESG 要因を組み入れなかった	

説明

指標の目的	本指標の目的は、投資モニタリングに焦点を当て、ESG 要因をどのようにプライベート・デットの投資プロセスに組み入れているかを評価することです。投資後の段階を含む投資プロセスのすべての段階に、およびすべてのプライベート・デット投資について、ESG 要因を分析して統合することは、優れた取り組みであると考えられます。このプロセスは、投資家がより全体的な視点でリスクを検討し、借り手の信用力に影響を及ぼす可能性のある隠された要因を特定するのに役立ちます。		
追加報告ガイダンス	業界の主要ガイドラインには、PRI、Loan Syndications & Trading Association (LSTA)、Alternative Credit Council (ACC) などによって提供されるものなどがあります(ただし、これらに限定されるわけではありません)。		
他のリソース	プライベート・デット投資への ESG の統合に関するその他のガイダンスについては、 プライベート・デットにおける責任投資に関するスポットライト (Spotlight on responsible investment in private debt) を参照してください。 債券運用への ESG の統合に関するその他の知見については、 責任投資の入門ガイド: 債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。		
ロジック			
依存関係	[OO 21]		
ゲートウェイ	該当なし		
評価			
評価基準	本指標の 100 ポイントを、英字項目 (50 ポイント) と対象範囲 (50 ポイント) の回答オプションに配分します。最終スコアは、英字項目と番号が付された回答オプションの最も得点の高い 3 つの組み合わせに基づいて決定されます。		
	英字項目の回答オプション 50 ポイントの配点: A〜D から 3 つ以上選択した場合は 50 ポイント。 A〜D から 2 つ選択した場合は 33 ポイント。 A〜D から 1 つ選択した場合は 16 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	および	対象範囲の回答オプション 50 ポイントの配点: A から D の回答選択につき、各オプションのポイント比率は以下のとおりです: すべて (1) の場合は 50/3 ポイント。 過半数 (2) の場合は 25/3 ポイント。 一部 (3) の場合は 12/3 ポイント。 その他の詳細: 「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。
「その他」の採点	「その他 (E)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。		
乗数	High(高)		

指標 ID FI 14	依存関係	OO 5.3 FI、OO 21	サブセクション パフォーマンスのモニタリング	PRI 原則 1	指標種別 プラス 自主開示
	ゲートウェイ	該当なし			

債券の評価またはポートフォリオ構築に環境／社会要因を組み入れることが、それらの資産の実現した投資収益にどのように影響したかを示す例を挙げてください。

関連する資産、セクター、または資産クラスの財務上の収益に ESG 要因とリンクを組み入れる手法を例として説明してください。

[自由記述: ラージ]

説明	
指標の目的	本指標により、署名機関はさまざまな取り組みおよび経験を共有でき、PRI は、環境および社会要因が実現した投資収益に影響を及ぼした例から成る証拠を収集することができます。
追加報告ガイダンス	投資収益への影響が特定できる統合、スクリーニング、テーマ性のある戦略への興味深いアプローチを例として挙げるすることができます。これらの例により、相関関係を浮き彫りにして、因果関係を説明することができます。
他のリソース	債券運用への ESG の重要性の統合に関するその他のガイダンスについては、 責任投資の入門ガイド: 債券 (An introduction to responsible investment: fixed income) を参照してください。 https://www.unpri.org/an-introduction-to-responsible-investment/an-introduction-to-responsible-investment-fixed-income/4986.article
ロジック	
依存関係	[OO 5.3 FI]、[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

テーマ型債券[FI 15、FI 16、FI 17]

指標 ID	依存関係	OO 20、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 15	ゲートウェイ	該当なし	テーマ型債券	3	プラス 自主開示

貴組織が保持している何パーセントのグリーン、ソーシャル／その他の分類されている(ラベル付き)テーマ型債券が検証されていますか。

	分類されている(ラベル付き)債券合計のパーセント:
(A) 第三者機関による保証	[ドロップダウン・リスト] (1) 0% (2) 0%超～25% (3) 25%超～50% (4) 50%超～75% (5) 75%超
(B) セカンドパーティ・オピニオン	[同上]
(C) 承認を受けた検証機関または外部評価機関(CBI や ICMA などを介すものなど)	[同上]

説明

指標の目的	本指標の目的は、署名機関のグリーン、ソーシャルまたはサステナビリティ商品がどの程度独立機関により検証されているかを評価することです。すべてのソーシャル、グリーンおよび／またはサステナビリティと分類されている(ラベル付き)債券が独立機関により検証されていることを確認することは、優れた取り組みであると考えられます。
追加報告ガイダンス	本指標は、グリーン・ボンド、ソーシャルボンド、その他の分類されている(ラベル付き)テーマ型債券(サステナビリティ債または SDG 債など)に投資している投資家を対象にしたものであり、それらの債券を発行する可能性のある発行体は対象にしません。

	本指標は、アクティブ運用されている債券にのみ適用されます。
他のリソース	一部の基準策定機関により審査機関・検証機関のリストが提供されています。ICMA の グリーン・ボンド 、 ソーシャルボンド 、 サステナビリティ債のデータベース (Green, Social and Sustainability bonds database) または 気候ボンド・イニシアティブの気候ボンド基準に従って承認を受けた検証機関 (Approved Verifiers under the Climate Bonds Standard) を参照してください。
他の基準の参照	インターナショナル・ボンドの基準: CBI 気候債券基準 (CBI Climate Bonds Standard) 国際資本市場協会のグリーン・ボンド原則 (ICMA's Green Bond Principles) 国際資本市場協会のソーシャル・ボンド原則 (ICMA's Social Bond Principles) 国際資本市場協会のサステナビリティ・ボンド・ガイドライン (ICMA's Sustainability Bond Guidelines) 国際資本市場協会のサステナビリティリンクボンド原則 (ICMA's Sustainability-Linked Bond Principles) 国連開発計画の債券発行者のための SDGs インパクト基準 (UNDP SDG Impact Standards for Bond Issuers) リージョナル・ボンドの基準: ASEAN ボンド基準 (ASEAN Bond Standards) オーストリアのエコラベル (Austrian Ecolabel) (UZ49) 欧州グリーン・ボンド基準 (EU Green Bonds Standard) Febelfin FNG-Siegel Greenfin ISR ラベル (Le label ISR) Luxflag グリーン・ボンド (Luxflag Green Bond) ノルディック・スワン・エコラベル (Nordic Swan Ecolabel) 中国人民銀行グリーン・ボンド・ガイドライン (People's Bank of China green bond guidelines) RIAA Towards Sustainability
ロジック	
依存関係	[OO 20]、[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし
評価	
評価対象外	

指標 ID	依存関係	OO 17 FI、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 16	ゲートウェイ	該当なし	テーマ型債券	1	コア

分類されていない(ラベルなし)テーマ型債券への投資を特定するために貴組織が使用している既定の基準は何ですか。

- ☐ (A) 債券による収益の使途
☐ (B) 発行体の目標
☐ (C) 発行体の目標達成に対する進捗状況
☐ (D) 発行体の特性および目標に対する貢献度
☐ (E) 分類されていない(ラベルなし)テーマ型債券への投資を特定するための既定の基準は使用していない
☐ (F) 分類されていない(ラベルなし)テーマ型債券への投資は行っていないため該当しない

説明

指標の目的	本指標の目的は、環境／社会的成果に資金を出す自己分類された(セルフラベル付き)または分類されていない(ラベルなし)債券など、署名機関の分類されていない(ラベルなし)テーマ型債券の投資前のレビューの厳格さを評価することです。特定の環境／社会的成果または目標を達成するために、分類されていない(ラベルなし)テーマ型債券がどのように作用するかを評価するための既定の基準が設けることは、優れた取り組みであると考えられます。
追加報告ガイダンス	本指標は、分類されていない(ラベルなし)テーマ型債券の投資運用機関を対象としたものであり、テーマ型債券の発行候補者を対象としたものではありません。 本指標では、「目標」は、環境または社会的パフォーマンスにおける変化と、金融商品との関係または債券との関係を表します。サステナビリティの成果に特定の目標を設定している場合、サステナビリティの成果モジュールでそれらを報告することもできます。 本指標は、アクティブ運用されている債券にのみ適用されます。
ロジック	
依存関係	[OO 17 FI]、[OO 21]
ゲートウェイ	該当なし

評価		
評価基準	本指標全体で 100 ポイント。 A～D から 4 つ選択した場合は 100 ポイント。 A～D から 3 つ選択した場合は 75 ポイント。 A～D から 2 つ選択した場合は 50 ポイント。 A～D から 1 つ選択した場合は 25 ポイント。 E の場合は 0 ポイント。	その他の詳細: 「E」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 「F」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。 署名機関は、本指標のために減点されることはありません。
乗数	Low(低)	

指標 ID	依存関係	OO 17 FI、OO 20、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 17	ゲートウェイ	該当なし	テーマ型債券	1、2、6	コア

報告年度中に、テーマ型債券の収益が適切に配分されなかった、あるいはボンド・ディールまたは目論見書に従っていなかったと思われる場合に、過半数の事例でどのような措置を講じましたか。

- ☐ (A) 発行体に対するエンゲージメントを行った
☐ (B) テーマ型債券の認証機関に通知した
☐ (C) 証券を売却した
☐ (D) 発行体をブラックリストに載せた
☐ (E) その他の措置
 具体的に記入: _____ [自由記述(必須): スモール]
☐ (F) 報告年度中に、テーマ型債券の収益がボンド・ディールに従って適切に配分されなかった場合に、特に措置を講じなかった
☐ (G) 報告年度中に、過半数の事例でテーマ型債券の収益はボンド・ディールに従って配分されたため、該当しない

説明	
指標の目的	本指標の目的は、債券発行体の収入の用途がどのようにモニタリングされているか、および発行体が違反した場合の署名機関の対応行動の厳格さを評価することです。テーマ型債券の収入の用途をモニタリングし、違反の場合に適切な措置を講じることは、優れた取り組みであると考えられます。
追加報告ガイダンス	署名機関は、報告年度中の大部分の事例において講じる措置を最もよく表している回答オプションを選択してください。 「発行体に対するエンゲージメントを行う」とは、違反の理由および計画された削減措置について説明を求めるために発行体に連絡することを意味します。 「テーマ型債券の認証機関に通知した」は、債券の認証機関に違反を認識させることを意味します。 本指標は、アクティブ運用されている債券にのみ適用されます。サステナビリティ連動債には適用されません。
他のリソース	グリーン・ボンド発行体に対するエンゲージメントのその他の知見については、 ソブリン・グリーン・ボンド発行体に対するエンゲージメント(Engaging with sovereign green bond issuers) を参照してください。

ロジック		
依存関係	[OO 17 FI]、[OO 20]、[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	本指標全体で 100 ポイント。 A～D から 3 つ以上選択した場合は 100 ポイント。 A～D から 2 つ選択した場合は 66 ポイント。 A～D から 1 つ選択した場合は 33 ポイント。 E、F の場合は 0 ポイント。	その他の詳細： 「F」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。 「G」を選択すると、本指標のスコアは「該当なし」となります。 署名機関は、本指標のために減点されることはありません。
「その他」の採点	「その他(E)」を選んだ場合、回答オプションが優れた取り組みに該当すると判断されれば、採点基準の対象とはなりません。	
乗数	Moderate(中)	

ESG スクリーニングの開示[FI 18]

指標 ID	依存関係	OO 17 FI、OO 21	サブセクション	PRI 原則	指標種別
FI 18	ゲートウェイ	該当なし	ESG スクリーニングの開示	6	コア

ESG スクリーニングの対象となるすべての債券資産について、顧客がどのようにして ESG [スクリーニング](#)とその影響を理解できるようにしていますか。

署名機関は、ESG スクリーニングが単独、または他の戦略と組み合わせて適用されているすべての債券資産について公開または非公開、(資産が公表を回避するための商業協定または顧客合意の対象になっている場合のみ)に共有された情報に言及する必要があります。

- ☐ (A) ESG スクリーニングのリストを共有している
- ☐ (B) ESG スクリーニングにおける変更を共有している
- ☐ (C) ESG スクリーニングの影響(ベンチマークからの逸脱やセクター重み付けに対する影響など)を説明している
- ☐ (D) ESG スクリーニングの対象となるすべての債券資産に関する上記の情報を共有していない

説明

指標の目的	本指標の目的は、ESG スクリーニングの適用において、顧客に対してどの程度の可視化を図っているか、および同スクリーニング・ポリシーがどの程度一貫して適用されているかを評価するためのツールが顧客に提供されているかどうかを評価することです。 スクリーニングの適用およびポートフォリオへのそれらの影響は、顧客にとっては理解が難しい場合があります。最低限の基準として、署名機関はそれらのスクリーニングを顧客に説明する必要があります。例えば、顧客またはスクリーニング・ポリシーの変更によって資産運用会社が指定されたときに、それらのスクリーニングに対する変更についての更新を提供し、ポートフォリオ構造への影響を概説することは、優れた取り組みであると考えられます。
追加報告ガイダンス	回答オプション「(A) ESG スクリーニングのリストを共有している」は、債券資産に適用されるスクリーニング基準を指し、それらによって影響を受ける企業に適用されるスクリーニング基準を指しているわけではありません。
他のリソース	スクリーニングに関するその他のガイダンスについては、責任投資の入門ガイド: スクリーニング (An introduction to responsible investment: screening)を参照してください。

ロジック

依存関係	[OO 17 FI]、[OO 21]	
ゲートウェイ	該当なし	
評価		
評価基準	本指標全体で 100 ポイント。 A～C から 3 つすべて選択した場合は 100 ポイント。 A～C から 2 つ選択した場合は 66 ポイント(A の選択は 必須)。 A の場合は 33 ポイント。 D の場合は 0 ポイント。	その他の詳細： 「D」を選択すると、本指標は 0/100 ポイントになります。
乗数	Moderate(中)	